

芸閣

～図書館だより～

第8号
2023年12月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)



今年の漢字

12月12日に今年の漢字が発表されました。「税」です。応募総数14万7,878票から最多得票となる5,976票を集め、2023年の世相を表す漢字は「税」に決まりました。定額減税、ふるさと納税、増税議論など、税にまつわる話題が多かったからだそうです。

12月12日は「漢字の日」です。毎年「いい字」を少なくとも「一字」は覚えてほしいという願いを込めて、12(いいじ)月12(いちじ)日の語呂合わせから、(公財)日本漢字能力検定協会が12月12日を漢字の日と決めました。

図書館講座のお知らせ

日時 12月19日(火) 13時～14時
場所 桐蔭図書館
内容 中国の方を講師としてお迎えして、中国の生活・歴史・文化・言葉などを紹介していただき、異文化に対する理解について一緒に考える
講師 黄家玉(こう かぎょく)氏

中学生、高校1・2年生の後期図書委員は全員参加してください。
図書館講座は三者面談中です。参加する人は、この時間に面談を入れないように気をつけてください。

※筆記用具を持参してください



(裏面に、新しく入った本の紹介を載せています)

新しく入った本の紹介

- 『竹取工学物語 土木工学者、植物にものづくりを学ぶ』佐藤太裕 著 岩波書店
- 『ボクの故郷は戦場になった 樺太戦争、そしてウクライナへ』重延浩 著 岩波書店
- 『実力も運のうち 能力主義は正義か?』マイケル・サンデル 著 新潮社
- 『31cm ヘアドネーションの今を伝え、未来につなぐ』Japan Hair Donation & Charity 監修 KuLaSciP
- 『源氏物語入門』高木和子 著 岩波書店
- 『あなたの知らないこの世の闇大全』キリン 著 扶桑社
- 『ギャッシュリークラムのちびっ子たち』エドワード・ゴーリー 著 河出書房新社
- 『大学マップ 特色・進路・強みから見つけよう!』小林哲夫 著 筑摩書房
- 『ナイチンゲール』金井一薫 著 筑摩書房
- 『神さまと神はどう違うのか?』上枝美典 著 筑摩書房
- 『「死にたい」と言われたら』末木新 著 筑摩書房
- 『嫌な気持ちになったら、どうする? ネガティブとの向き合い方』中村英代 著 筑摩書房
- 『ナマケモノは、なぜ怠けるのか?』稲垣栄洋 著 筑摩書房
- 『偏差値45からの大学の選び方』山内太地 著 筑摩書房
- 『増えるものたちの進化生物学』市橋伯一 著 筑摩書房
- 『国語の成績は観察力で必ず伸びる』久松由理 著 かんき出版
- 『椿ノ恋文』小川糸 著 幻冬舎
- 『10代の脳とうまくつきあう 非認知能力の大事な役割』森口佑介 著 筑摩書房
- 『ランキングマップ世界地理 統計を地図にしてみよう』伊藤智章 著 筑摩書房
- 『はじめてのフェミニズム』デボラ・キャメロン 著 筑摩書房
- 『文藝春秋オピニオン2024年の論点100』文藝春秋
- 『現代用語の基礎知識2024』自由国民社

図書館 文学散歩

12月9日(土)に、文学散歩で、大阪城と大阪歴史博物館に行ってきました。

大阪城では、大阪夏の陣が描かれた屏風の説明や、豊臣秀吉の生涯、出来事がわかりやすく映像にまとめられた資料を見たり、豊國神社で豊臣秀吉の像を拝見したりしました。また大阪歴史博物館では、難波宮や大大阪時代の服装、街並み、ジオラマなどの資料を詳しく見ることができ、今の時代にはない文化を肌で感じる事ができました。

(図書館 2年)

